

2023年12月13日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2023年12月13日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/data/gaikyo.html>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、回復している。12月短観（全産業）をみると、企業の業況判断は幾分悪化した。

最終需要の動向をみると、公共投資は、緩やかに増加している。輸出は、高水準で推移している。設備投資は、高めの水準にある。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。

こうした中で、生産は、緩やかに回復している。雇用情勢をみると、緩やかに改善している。

【前回との比較】

項目	前回	今回
景気判断	回復している。	回復している。
需要項目	公共投資	緩やかに増加している。
	輸出	高水準で推移している。
	設備投資	高めの水準にある。
	個人消費	物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに増加している。
	住宅投資	弱めの動きとなっている。
生産	緩やかに回復している。	緩やかに回復している。
雇用	緩やかに改善している。	緩やかに改善している。

2. 需要項目別動向

公共投資は、緩やかに増加している。

輸出は、高水準で推移している。管内の10月の貿易収支は、黒字であった。

設備投資は、高めの水準にある。

12月短観をみると、2023年度の設備投資額は2022年度を上回っている。管内企業は高水準な企業収益を背景に、能力増強に向けた前向きな設備投資を行う先が目立つ。また、将来を見据えたデジタル・環境関連投資のほか、人手不足を背景とした省人化・効率化投資を行う先がみられている。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに増加している。

飲食や旅行・観光関連のサービス消費は、増加している。食料・日用品の販売は、物価上昇を受けて消費者の生活防衛的な動きが強まりつつも、底堅く推移している。乗用車販売は、回復している。高額品や衣料品の販売は、堅調に推移している。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

3. 生産

生産は、緩やかに回復している。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	緩やかに回復している。
	電炉	フル稼働の生産が続き、高水準を維持している。
化学		国内・海外の需要低迷を受け、減少している。
セメント		横ばい圏内で推移している。
住設機器		高水準で推移している。
電気機械		一部に弱めの動きがありつつも、高水準で推移している。
電子部品		情報通信向けに弱さがみられるものの、自動車向けの堅調な需要を背景に、全体では増加している。
自動車		増加している。

4. 雇用

雇用情勢をみると、緩やかに改善している。

5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）の前年比は、3%程度となっている。

6. 企業倒産

企業倒産をみると、総じて抑制された状況にあるものの、このところやや増加している。

7. 金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、前年を上回って推移している。

以 上